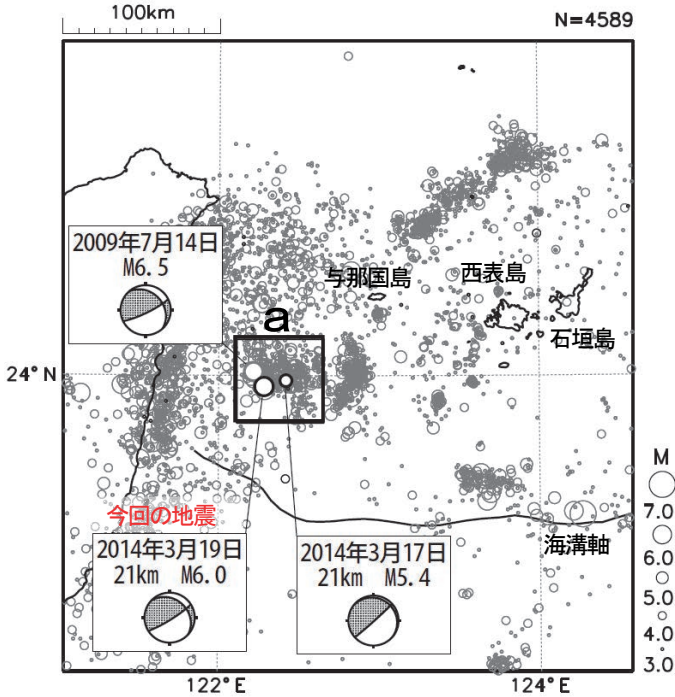


3 月 19 日 台湾付近の地震

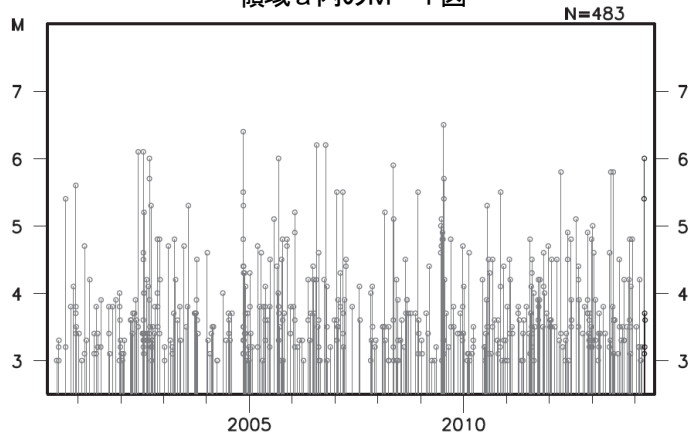
震央分布図
 (2000 年 7 月 1 日～2014 年 3 月 31 日、
 深さ 0～100km、 $M \geq 3.0$)
 2014 年 3 月の地震を濃く表示
 図中の発震機構は CMT 解



2014年3月19日21時19分に台湾付近（与那国島の南西約90km）の深さ21kmでM6.0の地震（日本国内の最大震度2）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、南北方向に圧力軸を持つ型である。なお、今回の地震の震央付近では、3月17日にM5.4の地震（日本国内の最大震度2）が発生している。

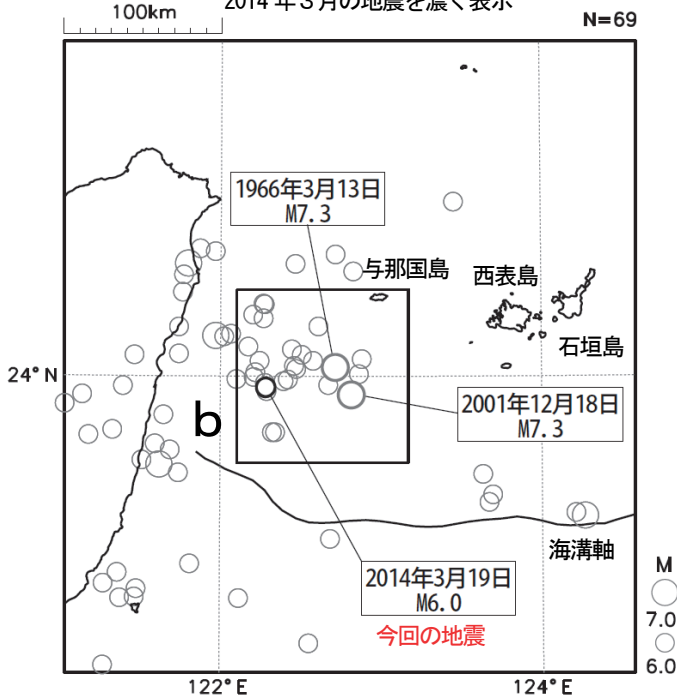
2000年7月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、2009年7月14日にM6.5の地震（日本国内の最大震度3）が発生するなど、M6.0以上の地震が時々発生している。

領域a内のM-T図

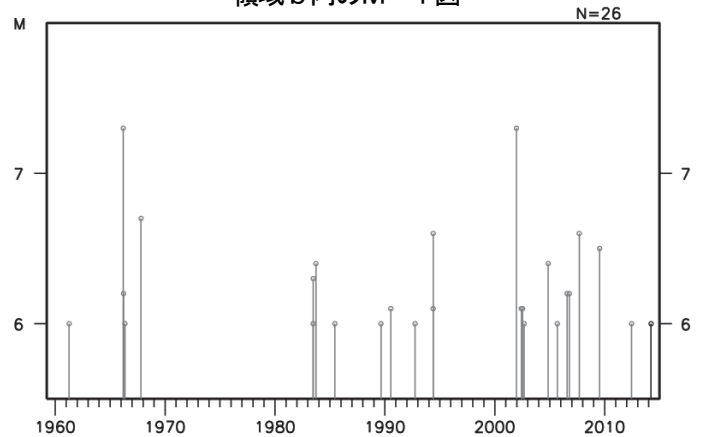


1960年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M7.0以上の地震が2回発生している。1966年3月13日に発生したM7.3の地震（最大震度5）では、与那国島で死者2人、家屋全壊1棟、半壊3棟などの被害が生じている（「最新版 日本被害地震総覧」による）。また、2001年12月18日に発生したM7.3の地震（最大震度4）では、与那国島で12cm、石垣島で4cmの津波を観測している。

震央分布図
 (1960 年 1 月 1 日～2014 年 3 月 31 日、
 深さ 0～100km、 $M \geq 6.0$)
 2014 年 3 月の地震を濃く表示



領域b内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)